

新生会

田村孝(代表)、松浦博幸、瀬川健則
田中榮司夫、工藤直道、大和田順一
渡辺義光、大森力男、立花安文

第6次産業で地域を活性化

新生会では、7月6日から8日まで、①三重県伊賀市のモクモク手づくりファーム、②三重県多気町のせいわの里まめや、③横浜市の一戸町アンテナショップ「ナチュラル・エッセイ」、④東京銀座の岩手県アンテナショップ「いわて銀河プラザ」の4カ所を視察研修しました。

今回の視察目的は、農業を中心に第6次産業に取り組んでいる先進地を学ぶこととアンテナショップの実態を調査することでした。



モクモク手づくりファーム (三重県伊賀市)

雇用は大半がパートやバイトながら約800人の企業でした。

◎せいわの里まめや

平成15年に地域農家35人が設立した農業法人で、田舎で農村料理レストランを経営しており、料理の中心は地元の営農組合が栽培する大豆を加

工した豆腐、おから、揚げなど。レストランはバイキング方式。約30種類の料理が食べ放題になっており、食材に魚介類は一切使わず、全て地域で取れる地場産物で賄っていました。昼食バイキングのみで1日平均の来客数が1000人。大半が車で1時間近くかけて来てくれるそうです。

◎アンテナショップ

観光気分を体験できるとあってアンテナショップは人気スポットなそう、今年1月にオープンした一戸町のショップは、岩手のお店として頑張っていました。また、いわて銀河プラザの1日入館者は約2千人、年間販売額は約6億円でした。

永年の功績をたたえる

全国市議会議長会から表彰

本市議会の議員3人(前議員も含む)が、全国市議会議長会(五本幸正会長)から表彰を受けました。

今回、全国市議会議長会表彰規程に基づき表彰されたのは、瀬川健則議長、高橋光幸副議長、工藤忠義前議員の各氏。瀬川議長は市議会議長を4年間、高橋副議長は市議会副議長などを5年間務めた功績での表彰です。また、高橋副議長、工藤前議員は、市議会議員の勤続年数が通算10年以上(町村議会議員としての年数は、その2分の1を



表彰の伝達を受ける
瀬川健則議長



高橋光幸副議長は2つの表彰を受けました



勤続10年以上で表彰を受けた
工藤忠義前議員

議会の動き (5月1日から6月17日まで)

◎5月

- ▶11日 平成22年第2回臨時会
- ▶13日 全国自治体病院経営都市議会協議会第38回定期総会
- ▶17日 平成22年度八幡平市建設協同組合通常総会
- ▶19日 平成22年度八幡平市企業懇談会総会
- ▶20日 平成22年度第60回全国高等学校スキー大会実行委員会設立総会
- ▶20日 平成22年度八幡平市スキー大会実行委員会総会
- ▶21日 平成22年度八幡平市商工会通常総会
- ▶22日 田頭小学校運動会
- ▶24日 平成22年度八幡平市行政連絡会
- ▶25日 全国温泉所在都市議会議長協議会第39回総会
- ▶25日 平成22年度盛岡北部行政事務組合議会第1回臨時会
- ▶26日 全国市議会議長会第86回定期総会
- ▶26日 名護市議会総務財政委員会行政視察への対応
- ▶27日 天皇陛下拝謁
- ▶27日 岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会理事会
- ▶27日 平成22年度県土整備部関係団体通常総会合同総会
- ▶28日 (社)八幡平市シルバー人材センター第1回通常総会

- ▶28日 平成22年度八幡平市国際交流協会総会
- ▶30日 第4回八幡平ふるさと会
- ▶31日 いこいの村岩手5周年祝賀会
- ◎6月
- ▶2日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会平成22年度第1回要望会
- ▶6日 平成22年度七時雨山山開き
- ▶7日 平成22年度北方領土返還要求運動岩手県民会議総会
- ▶10日 第71回国民体育大会岩手県準備委員会第4回総会
- ▶12日 第62回岩手県民体育大会・第24回ゲートボール競技開会式
- ▶13日 遠野物語100年祭記念式典
- ▶14日 第37回東北総合体育大会八幡平市実行委員会設立総会
- ▶14日 議会運営委員会
- ▶15日 平成22年度全国すし連東北ブロック会議懇親会

◎おわびと訂正

4月8日発行の議会だより第19号に誤りがありました。おわびの上、訂正します。
▶4ページの写真説明、佐藤綾佳主事補の所属課 (誤)「地域振興課」→ (正)「地域福祉課」

9月定例会の日程について (予定)

9月定例会は、9月上旬から約2週間開催します。傍聴を希望される方は当日、市役所3階・議会事務局までおいでください。

なお、詳しい日程が決まり次第、ホームページに掲載します(定例会初日のおよそ5日前)。

ご覧ください。市議会ホームページ

市議会ホームページに、議員名簿や会期日程、一般質問要旨一覧などを掲載しています。市トップページ左側に、市議会のバナー(横長の細い見出し画像)がありますので、そこをクリックしてご覧ください。

詳しくは議会事務局(☎76-2111、内線1323)まで。

自由クラブ 緑松会

関善次郎(代表)、遠藤公雄、渡邊正
高橋喜代春
高橋光幸(代表)、伊藤一彦、古川津好

観光と農業さらなる連携を

自由クラブと緑松会は合同で、7月6日から8日まで視察研修を行いました。

◎帯広市農業技術センター・北口農場

北口農場は、減農薬栽培による付加価値化とコスト低減を目標に経営されています。小麦、豆類など畑作4品を作物としており、将来は6次産業化したいとのことでした。当市には多くの遊休農地があり、遊休農地解消の参考にしたいと感じました。

◎新得町産業振興

減少傾向にあるスキー客の誘致をどのように進めるか尋ねたところ、選手と一般客を分離する、滞在日数が増加しているのでスキー場の選択を増やしていく、との回答でした。当市のスキー場閉鎖などの課題解決の参考にしたいと思えます。

また、新得町は観光と農業の連携の取れた町でもあり、農業体験の①乳しほり(平成21年度は839人)、②収穫体験(ハスカップ、しいたけ、その他農産物など)、



帯広市農業技術センター・北口農場

◎地方独立行政法人道立上川農業試験場

上川農業試験場の稲の品種改良については、「きさら397」から「ななつほし」「ほしのゆめ」、そして今後全国的に注目されるであろう「ゆめびりか」の育成に成功。今年度「ゆめびりか」の作付けは3000畝とのこと、あきたこまちやひとめぼれ、こしひかりに

勝るとも劣らない分析データが出ているようです。米の産地は、地球温暖化の影響によって移動することも考えられますので、今後も全国各地の品種改良の情報収集に努め、当市の農業発展に役立てていきたいと思えます。